

業務報告書

検印 3	検印 2	検印 1	期間/報告日	2014/6/26 ~ 2014/6/26	2014/6/30
			実 施 場 所	グランドプリンスホテル新高輪 飛天	
			所 属 / 氏 名	システム開発部	中西 政義

業務実施内容について、以下のとおり報告いたします。

I : 実施内容

三菱重工株式会社 第 89 回定時株主総会

1. 報告

監査報告・事業報告・連結計算書類等の確認が行われた。

(1) 監査報告

監査報告が行われた。監査報告書は以下の 3 つ。

- ① 連結計算書類に係る監査報告書
- ② 会計監査人監査報告書
- ③ 監査役会監査報告書

(2) 事業報告

事業報告のほか、対処すべき課題・今後に向けた取り組みから、五兆円企業へ向けた計画が発表された。

- ① エネルギー・環境機械・設備などの報告
- ② 対処すべき課題

2. 補足・その他

質疑応答に入る前に、シーメンス社との製鉄機械合弁設立・仏アルストム社エネルギーインフラに関する事業参画提案が拒否されたことなどが付け加えられた。

3. 質疑応答

(1) 戦車・特車などの要請台数が予定を変更して 3 割減となったが問題はないのか。

問題はない。陸以外にも海空に対して高い技術を持っているという自負がある。また、特車に関して要請などがあればリソースをあてられるように技術を高めていきたい。

(2) 韓国において行われた裁判で敗訴した件について、賠償するのか否か。

一社として対応出来る範囲を超えていたため、国に判断を任せる。

(3) F35 の試験飛行はいつ行われるのか。

昨年スケジュールを改定した。2015 年に試験飛行を行い、17 年に初号機を納入する予定である。

(4) 配当金を上げてほしい。せめて二桁はほしい。

確約は出来ないが、順調に行けば 1 株当たり 10 円の配当金もありうる。

4. 議題に対する賛成・反対の確認

会場においては、賛成者は拍手するという方式で厳密な賛成反対数をカウントしていかなかった。

(1) 剰余金の処分：可決

株主に対して 1 株当たり 4 円の配当金上乗せ。

(2) 前役員の任期満了による、外部取締役 3 人を含む取締役 12 人の選任。：可決

II : 所感

初めて株主総会に出席であること、韓国の賠償問題に加え原子力プラントのメーカーでもあった企業であったこともありどのような雰囲気で株主総会が行われるのかという不安があったが比較的穏やかに進行していたように感じた。

以 上